

令和6年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回 精神障がい者等地域生活部会	日時	令和 6年 10月 24日(木) 13:30 ~ 15:30
	会場	伊那市防災コミュニティセンター	参加者数	42 人
主 テ ー マ	<p>1 部会長挨拶</p> <p>2 講義</p> <p>3 グループワーク</p> <p>4 その他</p>			
	<p>1 部会長挨拶 以前グループホームの部会があり、情報交換や顔の見える関係づくりが行われていた。今年度、グループホーム従事者が集う場として、再度ニーズがあるか確認する場を設定。グループホームの日々支援はとても忙しいと思う。個別に悩む問題など、解決しないまま入居者への関わり方について悩みながら日々の業務をこなしていると思うので、今回発達障がいへの理解ということをテーマに改めて知識を深めるとともに、横の繋がりも持つ機会になれば良いと思う。</p> <p>2 講義 「発達障がいの特性・関わり方について」 講師:上伊那圏域障がい者総合支援センター</p> <p>3 グループワーク ※内容を一部抜粋 ・講義を聞いて、視覚的支援が大事だと思った。メラビアンの法則の言語情報はほとんど伝わっていないという内容の部分は経験でも思ったことだった。改めて基本に立ち返れた。 ・グループホーム関係者の集まり、良かった。こういった横のつながり、情報交換にもっと参加したい。 ・いろいろなグループホーム等の支援内容や課題解決方法など、実践的な経験も聞いてみたい。 ・みなが同じ支援方法で対応していく必要がある。支援の統一の難しさある。 ・ほかのグループホームの話を知るのは新鮮だった。 ・トークテーマがあるグループワークもしてみたい。 ・人材不足が問題。イメージと違った、と辞めてしまう職員もいる。 ・一番入居者に近いのは世話人。世話人の話をしっかり聞いてあげたい。</p> <p>4 その他 事務局より連絡 - 今回の部会を機に、横に繋がりができると良い。</p>			
ま と め	<p>グループホームというテーマで、事業所とそれぞれの立場を超えた横の繋がりが持てた。 改めて発達障がいについての理解を深めることができ、グループホームで従事する方同士の繋がりが持てた。</p>			
次回	<p>第3回精神障がい者等地域生活部会 2月13日 10時00分から 場所未定</p>			